

第784圖

ひめいはかがみ

Shortia soldanelloides Makino  
var. ilicifolia Makino.

山地ニ生ズル常緑ノ多年生草本ニシテ長ク根莖ヲ引キ、其先端ニ有柄ノ根生葉ヲ叢生ス、葉面小ニシテ卵圓形ヲ呈シ、葉縁ニ粗大ニシテ尖レル少鋸齒ヲ有シ、葉質硬クシテ光澤アリ。初夏、莖端葉中ニ葇ヲ直上シ、基部ニ鱗片ヲ具ヘ、上部ニ短總狀ヲ成シ、少數ノ白花或ハ紅紫花ヲ着ケ、花状いはかがみ花ト相同ジク花冠縁剪裂シ、五雄蕊、一雌蕊アリテ蒴果ヲ結ブ。本品ヲこいはかがみト云フハ非ナリ。



さほうめ科

第785圖

いはうちは

Shortia uniflora Maxim.

常緑ノ多年生草本ニシテ深山ニ生ジ、根莖ハ普通長ク横方ニ引キ、稀ニ60cm餘ニ及ブ。葉ハ莖頭ニ根生シテ叢ヲ成シ、長葉柄ヲ具ヘ、葉面平圓形ヲ成シテ鋸齒ヲ有シ、葉頭ハ凹入シ、葉底ハ多クハ心臟形ヲ呈ス。春日、葉心ニ單梗ヲ抽テ直上シ、基部ニ廣鱗片ヲ具ヘ、梗頂ニ淡紅ノ一美花ヲ開テ側向ス。萼片五。花冠漏斗狀鐘形ニシテ邊緣細裂シ、五雄蕊、一雌蕊アリ。蒴果ヲ生ズレドモ花後結實スルコト少ナシ。



さほうめ科

第786圖

いはうめ

一名 ふきづめさう・すけろくいちやく  
Diapensia lapponica L.  
var. obovata Fr. Schm.

(=D. obovata Nakai;  
D. lapponica L. var. asiatica Herd.)

中部以北ノ高山帯ノ岩石地ニ生ズル極メテ矮小ノ常緑草狀灌木ニシテ集團密簇シ壓着セル如ク地ヲ覆ヒ綠色ヲ呈セリ。根莖ハ地中ニ匍匐シテ分レ、枝ハ斜上スレド極メテ短ク且ツ葉ヲ密生ス。葉ハ鏡形又ハ倒卵形ヲ成シ凹頭狀、全邊、革質ニシテ厚ク、表面ハ脈絡陷凹シ稍皺ヲ呈セリ。七月、莖頂ニ一葇ヲ抽テ頂ニ綠白色ノ花ヲ獨生シ天ニ朝テ開キ、花下ニハ細長ノ綠苞二三片アリ。萼ハ五片綠色、卵狀圓形ニシテ宿存ス。花冠ハ合瓣短鐘形ニシテ五裂シ、圓形ノ裂片ハ展開シ、白梅花ノ態アリ。五雄蕊アリテ花喉ニ著生シ花藥ト互生シ、内方ニ倒レテ雌蕊ヲ圍ム。子房ハ小ニシテ卵圓形、瘦細ナル一花柱ヲ頂生ス。蒴果ハ卵狀球形ニシテ宿存萼ヲ伴ヒ、熟シテ三數片ニ開裂ス。和名岩梅ハ岩邊ニ生ジテ其花梅花ノ如ケレバ云ヒ、吹詰草ハ草體宛モ風ニ吹キ附ケラレテ壓縮セル狀アルヲ以テ云ヒ、助六一葉草ハ尾張名古屋ノ本草學者 水谷助六(豐文)ニ對シテノ記念名ナリ。



さほうめ科

あをき

Aucuba japonica Thumb.

常緑灌木ニシテ山地樹下ニ生ズレドモ又普ク庭樹トシテ利用セラル。高サ2m内外ニシテ分枝シ、枝ハ粗大ニシテ嫩キモノハ平滑ニシテ綠色ナリ。葉ハ大形ニシテ對生シ、長橢圓形ニシテ粗鋸齒ヲ有シ、質厚クシテ光澤ヲ具ヘ、葉脈疎ナリ、乾ケバ黑色ヲ呈ス。雌雄異株ニシテ春ニ紫褐色ノ小形四瓣花ヲ開キ、花穂ハ枝端ニ出ヅ。雄花ハ大ナル圓錐花穂ヲ成シテ多數ノ花ヲ着ケ、四雄蕊アリ。雌花ハ小形ノ圓錐花穂ヲ成シテ少數ノ花ヲ着ケ、一雌蕊アリ。花後橢圓形ノ核果ヲ結ビ、冬月赤熟シ、葉間ニ隱見シテ美ナリ。葉ハ民間藥ニ供セラル。和名青木ハ枝ノ青キニ基ク。漢名 桃葉珊瑚(慣用)



みづき科

第787圖

はないかだ

一名 ままつこ

Helwingia japonica Dietr.

雌雄異株ノ落葉灌木ニシテ山地樹陰ニ生ジ、高サ1.5m内外、幹往々叢生シテ分枝シ、枝ハ綠色ナリ。葉ハ有柄互生シ、卵圓形ニシテ先端尖リ、細鋸齒ヲ有シ、齒端鬚狀ヲ呈ス。初夏ノ候、葉面ノ中央ニ短小梗アル淡綠色ノ三乃至四瓣花ヲ着ク。雄花ハ數箇、雌花ハ一三箇ニシテ、雄花ハ四雄蕊、雌花ハ一雌蕊ヲ有ス。花後下位子房ハ綠色ノ核果ト成リ、熟シテ黒シ。嫩葉ヲ食用トス。和名花筏ハ花ヲ載セタル葉狀ニ基ク。漢名 青莢葉(慣用)



みづき科

第788圖

みづき (燈臺木)

一名 くるまみづき

Cornus controversa Hemsl.

能ク山地ニ見ル落葉喬木ニシテ、幹直立シ、高サ10m許ニ達シ、枝ハ輪狀ニ出デテ横ニ擴ガリ、冬間紅色ヲ帶ブ。葉ハ互生シ、長葉柄ヲ具ヘテ枝梢ニ集リ着キ、廣橢圓形ニシテ尖リ、全邊ニシテ葉ノ表面綠色、裏面白色ヲ帶ビ微毛ヲ布キ、彎曲セル支脈多シ。五月、小枝頂ニ繖房花穂ヲ成シテ密ニ白色多數ノ小花ヲ着シ、此花穂枝上ニ滿チテ遠望一白ノ狀ヲ呈ス。萼細微。花瓣四。雄蕊四。下位子房ヲ有ス。後、球形ノ核果ヲ結ビ、熟スレバ藍色ト成ル。和名水木ハ樹液多キニ基ク。



みづき科